

2015 年 12 月 29 日

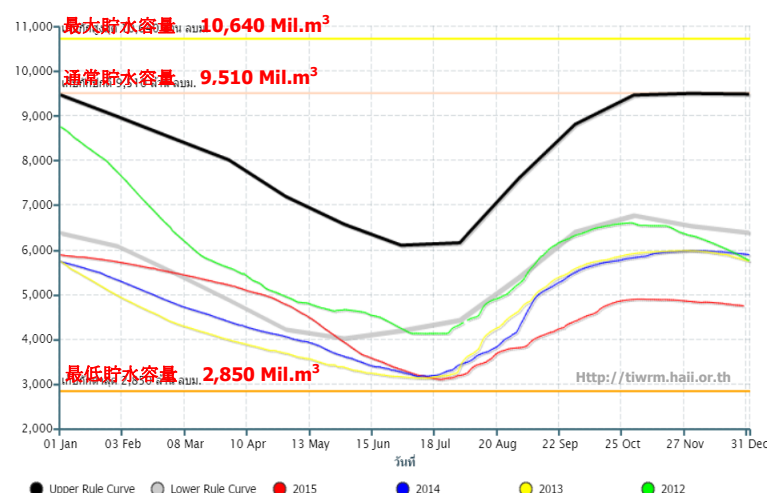
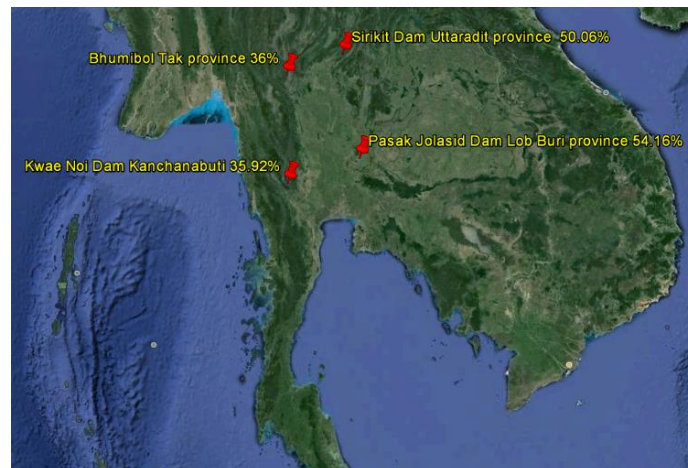
インターリスクアジアタイランド

2015 年タイの干ばつについて

現在タイはこの数十年で最も深刻な干ばつに直面しています。その為、水利局は、チャウプラヤー河川流域に位置している 22 県に対し、来月(2016 年 1 月)に予測されている干ばつ被害を避ける為、米の二期作に使用する農業用水の供給を停止すると発表しました。

タイでの主要灌漑用ダムである Bhumibol ダム、Sirikit ダム、Kwae Noi ダムおよび Pasak Jolasid ダムの貯水量を一定以上に保つ為、水利局は、雨季となる 2016 年 7 月まで、全 365 箇所の水門を閉じ、1 日に水を約 1560 万 m^3 のみ放水することを決定している模様です。下図は 2015 年 12 月 28 日時点における主なダムの貯水容量を示しています。

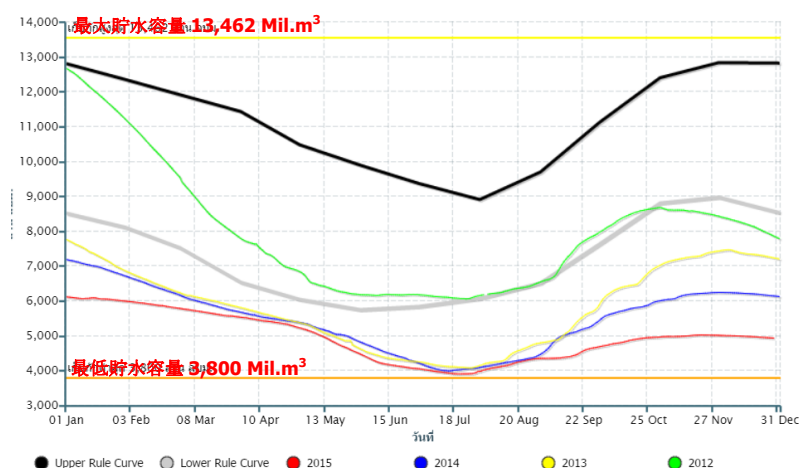
下記の図はタイにおける主なダムと貯水容量 (2015 年 12 月 28 日時点) を表しています。



2012-2015 年における Sirikit ダムの貯水量

Sirikit ダムの最大貯水量は 106 億 4,000 万 m^3 ですが、現在の貯水量は約 44.75% の 47 億 6,100 万 m^3 です。2014 年の同じ月と比較すると約 11 億 5,800 m^3 少ない値であり、2013 年との比較では約 10 億 3,300 万 m^3 、2012 年と比べると、容量が 10 億 7,600 万 m^3 減少しています。下記の表は Sirikit ダムでの 2012 年から 2015 年における 12 月 28 日時点の貯水量を表しています。

2015	2014	2013	2012
4,761 Mil. m^3 (44.75%)	5,919 Mil. m^3 (62.24%)	5,794 Mil. m^3 (60.93%)	5,837 Mil. m^3 (61.38%)



2012-2015 年における Bhumibol ダムの貯水量

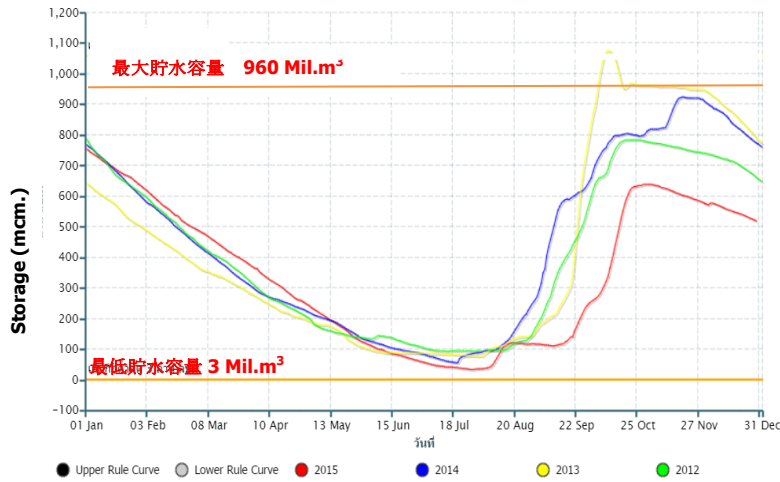
Bhumibol ダムの最大貯水量は 134 億 6,200 万 m^3 ですが、現在の貯水量は約 36.74% の 49 億 4,600 万 m^3 です。2014 年の同じ月と比較すると約 12 億 900 万 m^3 少ない値であり、2013 年との比較では約 22 億 9,900 万 m^3 、2012 年と比べると、容量が 29 億 2,200 万 m^3 減少しています。下記の表は Bhumibol ダムでの 2012 年から 2015 年における 12 月 28 日時点の貯水量を表しています。

2015	2014	2013	2012
4,946 Mil. m^3 (36.74%)	6,155 Mil. m^3 (45.72%)	7,245 Mil. m^3 (53.82%)	7,868 Mil. m^3 (58.45%)

2012-2015 年における Pasak Jolasid ダムの貯水量

Pasak Jolasid ダムの最大貯水量は 9 億 6,000 万 m^3 ですが、現在の貯水量は約 54.61% の 5 億 2,000 万 m^3 です。2014 年度の同じ月と比較すると約 2 億 5,500 万 m^3 減少しており、その前の年 2013 年との比較では約 2 億 7,000 万 m^3 、2012 年と比べると、1 億 4,200 万 m^3 少ない値となっています。下記の表は Pasak Jolasid ダムでの 2012 年から 2015 年における 12 月 28 日時点の貯水量を表しています。

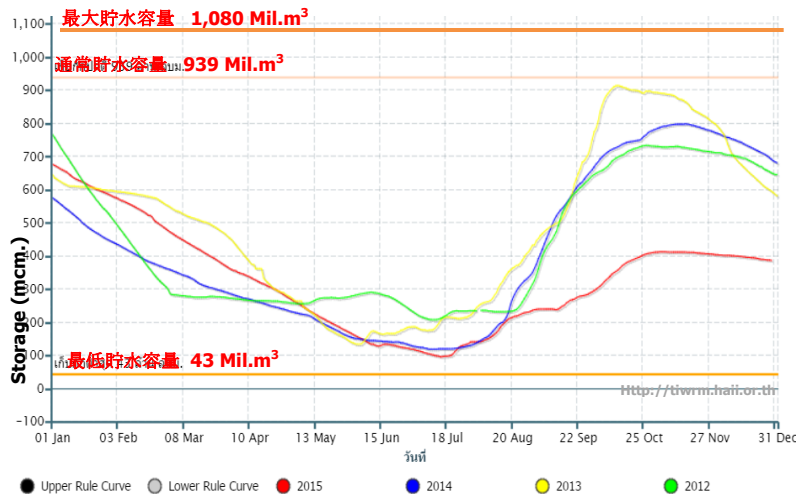
2015	2014	2013	2012
520Mil. m^3 (54.61%)	775 Mil. m^3 (80.73%)	790 Mil. m^3 (82.30%)	662 Mil. m^3 (68.96%)



2012-2015 年における Kwaee Noi ダムの貯水量

Kwaee Noi ダムでは最大に貯水することが可能な容量は 10 億 8,000 万 m^3 ですが現在の貯水量は約 36% の 3 億 8,800 万 m^3 です。2014 年度の同じ月と比較すると約 3 億 500 万 m^3 減少しており、その前の年 2013 年との比較では約 2 億 900 万 m^3 、2012 年と比べると、容量が 2 億 6,400 万 m^3 減少しています。下記の表は Kwaee Noi ダムでの 2012 年から 2015 年における 12 月 28 日時点の貯水量を表しています。

2015	2014	2013	2012
388Mil. m^3 (35.92%)	693 Mil. m^3 (64.17%)	597 Mil. m^3 (55.28%)	652 Mil. m^3 (60.37%)



今後の予想

この干ばつにより多くの農作物が影響を受けており、稲作の二期作生産量は、2015-2016 年には 22.98 mill トンになるものと予想され、これは、昨年の 32.62 mill トンから約 30% の減少です。また、2016 年はさらに干ばつは深刻になると予想され、今年と比較すると 48% 程度減少すると予測されています。

工業に与える影響としては、タイ工業団地公社 (IEAT) は過去 2 年前と比較するとかなり貯水が減少しているため、工業用水の不足を緩和するため、各工場が流出する処理済み水に関して限定する方針を出しています。12 月にタイ工業団地公社は処理済み水を約 500mill m^3 以上流出している企業 300 社に対し、工業用水の使用量をオンラインで管理等の設備を導入して常時監視するよう呼びかけています。

また、IEAT は各工場に水を流出する前に水質を改善および確認するよう呼びかけています。河川の水量が減少していることから、河川および自然への影響を及ぼさないよう、排水する水の酸素量(DO)は最低でも 2mg/リットル以上とすることを求めています。

2016 年は深刻な干ばつが予測されています。雨量は昨年に比較すると 10% 減少すると予測され、チャオプラヤ水系の主役ダムの総貯水量は 5,000mil m^3 以下と予想されているため、IEAT は主要工場に対し、水の使用管理を実施するよう呼びかけています。また、天然資源・環境省は 2016 年度には 40 以上の県が大干ばつによる大きな被害を受けるものと予想しています。特にタイの東北地域の北部および中央部では大きな被害が発生することが懸念されます。西部および南部ではダムの貯水量は大きく減少しないため干ばつの被害は発生しないと予測されています。

参考:

<http://mono29.mthai.com/episode/%E0%B8%81%E0%B8%A3%E0%B8%B0%E0%B8%97%E0%B8%A3%E0%B8%A7%E0%B8%87%E0%B8%AD%E0%B8%B8%E0%B8%95%E0%B8%AA%E0%B8%B2%E0%B8%AB%E0%B8%81%E0%B8%A3%E0%B8%A3%E0%B8%A1%E0%B9%80%E0%B8%95%E0%B8%A3%E0%B8%B5%E0%B8%A2>
<http://www.bangkokpost.com/print/619580/>
<http://www.dailynews.co.th/politics/367411>
<http://www.riceoutlook.com/royal-irrigation-department-rid-of-thailand-to-restrict-water-supplies-for-off-season-rice-crop/>
<http://www.tnamcot.com/content/354941>
<http://www.tnamcot.com/content/354941>

株式会社インターリスク総研は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメントに関する調査研究およびコンサルティングを行う専門会社です。タイ進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等はお近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せ下さい。
本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。 また、本誌は、読者の方々および読者の方々が所属する組織のリスクマネジメントの取組みに役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。
インターリスクアジアタイランドは、タイに設立されたMS & ADインシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等へのリスク調査や、BCP策定等の各種リスクコンサルティングサービスを提供させて頂いております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。 お問い合わせ先 : InterRisk Asia(Thailand) Co., Ltd. 175 Sathorn City Tower 9th Floor. South Sathorn Road. Thungmahamek. Sathorn. Bangkok 10120. Thailand http://www.interriskthai.co.th/ Direct: +66-(0)-2679-5276 Fax: +66-(0)-2679-5278